

令和元年度 北海道原子力防災訓練を実施します

日時 **2月13日(木) 午前9時～午後4時(予定)**

※現時点での予定であり、変更になる場合があります。

場所 本町を含む泊発電所周辺13町村、札幌市など

●詳細は、今月の折り込みチラシ「北海道原子力防災訓練のパンフレット」をご覧ください。

令和元年度北海道原子力防災訓練を次のとおり実施しますので、お知らせします。

今年度の訓練は、泊村、共和町、神恵内村、積丹町、古平町、余市町が町外への住民避難訓練を行い、本町は平成25年度以来となる住民の方が参加する町外への避難訓練を実施します。

また、要配慮者（障がい者、要介護者、児童など）の避難体制の強化を目的として、町内の社会福祉施設、病院、学校などとの通信連絡訓練や施設における**屋内退避**※訓練を実施します。あわせて、観光客などの一時滞在者の避難手順について確認することを目的として、町内観光施設との通信連絡訓練を実施します。

訓練当日は、お持ちの携帯電話に緊急速報メールの配信訓練が行われます。なお、大型バスや自衛隊車両などが訓練走行するほか、ヘリコプター等の航空機の飛行によりご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



※屋内退避とは？

泊発電所で事故が起きた場合、事故の進展状況によって、とるべき避難行動（防護措置）がいくつかありますが、その初めの段階でとるべき行動が屋内退避です。

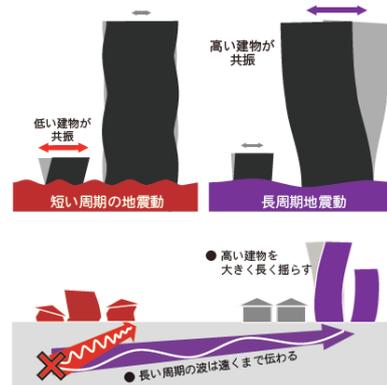
詳細は、平成30年4月に配布した「原子力防災のしおり」をご覧ください。

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

長周期地震動について

●長周期地震動とは？

大きな地震で生じる、周期（揺れが1往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。長周期地震動により、高層ビルは大きく長時間揺れ続けることがあります。また、長周期地震動は遠くまで伝わりやすい性質があり、地震が発生した場所から数百kmはなれた震度の大きくないところでも、高層ビルが大きく長く揺れることがあります。長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたりする危険に加え、大きく移動したりする危険があります。



●長周期地震動に関する観測情報

長周期地震動による揺れの大きさは、震度では十分に表現できません。このため、震度とは異なる「長周期地震動階級」という指標を用います。観測された長周期地震動階級や地震波形などのデータを「長周期地震動に関する観測情報」として、地震発生から約20～30分後に気象庁ホームページで提供しています。

●長周期地震動から身を守るために

事前に対策をすることで、長周期地震動による被害を小さくすることができます。家具などが倒れたりする場合に備えて、家具などを固定しましょう。

また、地震が発生したら、家具や照明機器などが「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。

階級1 <ul style="list-style-type: none"> ●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。 	階級2 <ul style="list-style-type: none"> ●室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなそう感じる。物につかまらなそうと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書籍の本が落ちることがある。
階級3 <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	階級4 <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。



※長周期地震動に関する気象庁ホームページQRコード

問合せ 札幌管区气象台 天気相談所 ☎011-611-0170

余市町の空間放射線量率 | 12月20日～1月23日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。
 (最高値: 4.3nGy/h、最低値: 3.3nGy/h、平均値: 3.7nGy/h) ※平常時は10～60nGy/h程度